



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

## 第2回「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう①(常緑低木・生垣編)」 〈樹木①〉

日時：令和4年5月15日(日) 9:30～12:30

会場：羽根木憩いの森(羽沢3-2)

### 今回の講座の流れ

前半は、憩いの森にある低木の管理や生垣の刈込、実生木についての説明を受け、安全管理のポイントを確認しました。後半は、実習でチャノキ等の常緑中低木の剪定を行いました。

### 各プログラムの様子



講義「憩いの森の低木管理」の様子



刈込みバサミの説明



剪定作業の様子

### 憩いの森の低木管理

剪定の目的や、住民管理で扱える樹木、使用可能な道具について学びました。また、憩いの森に生育している中低木の種類や剪定の時期、ツル植物の役割についても確認しました。その後、講師による実演を交えて、剪定方法や手順、実生木の整理について、具体的に学習しました。

### 安全管理の確認

「安全・安心に活動するための8項目」を確認しました。講師からは、プロの現場で行う、危険な生物の確認方法や、道具(剪定バサミ・ノコギリ)の管理・取り扱いについて説明がありました。

### 生垣の刈込み

生垣刈込みを行う際に使う道具(刈込みバサミ)や、複数人で作業を行う際の注意点やコツ等を学びました。

### 剪定実習(常緑低木)

2グループに分かれ、現場確認、対象木の観察、剪定後のイメージ共有、周囲との関係性を考慮しながら、剪定する枝を決め、チャノキやシキミ等の剪定と、実生木の整理を行いました。最後に、剪定枝の片付けと道具のメンテナンスを行いました。

### ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

### 今回のキーワード

## 同じ樹木でも、森によって切り方は変わります

(一社)練馬環境造園協会

立地や、森の保全・育成方針によって、樹木の仕立て方(切り方)は変わります。まず、その樹木を剪定する目的を仲間と共有します(森の利用のしやすさ、景観、花期、等)。それから、どのように仕立てたら良いか(仕上がりのイメージ)、作業の範囲等を決めると良いでしょう。

憩いの森はみんなの森なので、お手入れを通して、訪れる人々が、気持ちよく感じられる空間になるといいですね。

### 森でみつけた!

ほうか

### 萌芽更新の虫食い



昔、人々の生活が森に密着している頃、落葉樹は、定期的に伐採し、燃料等に使っていました。そして残された切株から出る萌芽をまた育て、森の更新を行ってきました。現在、細かい手入れが行き届かない森では、実生木が育ち、伐採することがありますが、その切株が腐り、萌芽した幹に虫が入ることがあり、倒木等の危険が懸念されます。現在の森の使われ方や、保全・育成方針を共有しながら、管理していくと良いでしょう。